



【資料カード】

品名	書架
品番	付録品目
材質	木製
備考	
形状	片断品
寸法	
重量	
位置	
備考	
写真	
その他	
備考	

1870

御免の旨に依りて候

御旨に依りて候

御旨に依りて候

御旨に依りて候

御旨に依りて候

御旨に依りて候

御旨に依りて候

御旨に依りて候

御旨に依りて候

御旨に依りて候

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、

卷之五

Handwritten text in a cursive script, likely Latin or Italian, covering the upper portion of the page. The text is arranged in several lines, with some words appearing to be in a larger or bolder script, possibly indicating a title or section heading. The ink is dark, and the paper shows signs of age and wear.

Handwritten text in a cursive script, likely Latin or Italian, covering the lower portion of the page. The text is arranged in several lines, continuing the narrative or list from the upper portion. The ink is dark, and the paper shows signs of age and wear.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in dark ink on aged, yellowish paper. The lines are somewhat irregular, suggesting a handwritten style. The text appears to be in a historical or literary context, possibly related to the University of the Ryukyus Library.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in dark ink on aged, yellowish paper. The lines are somewhat irregular, suggesting a handwritten style. The text appears to be in a historical or literary context, possibly related to the University of the Ryukyus Library.

今日て、百二五正長春に在りて、  
一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

今日て、百二五正長春に在りて、  
一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、







白雲寺の古本

無名草子八巻

右巻の初巻は法華入の何れに法華の書影ありて中巻以下

七巻は法華の書影

一 法華の書影 法華三千年の書影 法華の書影 法華の書影

一 法華の書影 法華の書影 法華の書影 法華の書影

法華の書影 法華の書影 法華の書影 法華の書影

法華の書影 法華の書影

一 法華の書影 法華の書影 法華の書影 法華の書影

法華の書影 法華の書影 法華の書影 法華の書影

法華の書影 法華の書影 法華の書影 法華の書影

法華の書影 法華の書影 法華の書影 法華の書影

法華の書影 法華の書影 法華の書影 法華の書影

法華の書影

一 法華の書影 法華の書影 法華の書影 法華の書影

一 法華の書影 法華の書影 法華の書影 法華の書影

一 法華の書影 法華の書影 法華の書影 法華の書影

法華の書影 法華の書影

一、*Handwritten text*

一、*Handwritten text*

*Handwritten text*

一、*Handwritten text*

一、*Handwritten text*

一、*Handwritten text*

*Handwritten text*

一、*Handwritten text*

一、*Handwritten text*

一、*Handwritten text*

一、*Handwritten text*

*Handwritten text*

一、*Handwritten text*

*Handwritten text*

一、*Handwritten text*

一、*Handwritten text*

一、*Handwritten text*

我々もまた、この世の事は、いふまでもなく、この世の事は、いふまでもなく、  
いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、  
いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、  
いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、  
いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、  
いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、  
いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、  
いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、

いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、  
いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、  
いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、  
いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、  
いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、  
いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、  
いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、  
いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく、













此の如き事は、人々の心を、たゞのつとめを、  
おぼしめす事には、あつたが、  
大抵、  
五つ、  
五つ、

一、  
二、  
三、  
四、  
五、

一、  
二、  
三、  
四、  
五、

一、  
二、  
三、  
四、  
五、

一、  
二、  
三、  
四、  
五、

後天の養生の要法

一 血氣の衰微を補ふ。血氣は人の生命の源なり。血氣が衰微すれば、百病を生ず。故に血氣を補ふは、養生の要法なり。血氣を補ふには、人参、鹿茸、熟地、当归、芍薬、甘草、大枣、蜂蜜等を配合して服用すべし。

一 精神の衰微を補ふ。精神は人の生命の源なり。精神が衰微すれば、百病を生ず。故に精神を補ふは、養生の要法なり。精神を補ふには、人参、鹿茸、熟地、当归、芍薬、甘草、大枣、蜂蜜等を配合して服用すべし。

一 陰陽の衰微を補ふ。陰陽は人の生命の源なり。陰陽が衰微すれば、百病を生ず。故に陰陽を補ふは、養生の要法なり。陰陽を補ふには、人参、鹿茸、熟地、当归、芍薬、甘草、大枣、蜂蜜等を配合して服用すべし。

一 血氣の衰微を補ふ。血氣は人の生命の源なり。血氣が衰微すれば、百病を生ず。故に血氣を補ふは、養生の要法なり。血氣を補ふには、人参、鹿茸、熟地、当归、芍薬、甘草、大枣、蜂蜜等を配合して服用すべし。

一 精神の衰微を補ふ。精神は人の生命の源なり。精神が衰微すれば、百病を生ず。故に精神を補ふは、養生の要法なり。精神を補ふには、人参、鹿茸、熟地、当归、芍薬、甘草、大枣、蜂蜜等を配合して服用すべし。

一 陰陽の衰微を補ふ。陰陽は人の生命の源なり。陰陽が衰微すれば、百病を生ず。故に陰陽を補ふは、養生の要法なり。陰陽を補ふには、人参、鹿茸、熟地、当归、芍薬、甘草、大枣、蜂蜜等を配合して服用すべし。

一 血氣の衰微を補ふ。血氣は人の生命の源なり。血氣が衰微すれば、百病を生ず。故に血氣を補ふは、養生の要法なり。血氣を補ふには、人参、鹿茸、熟地、当归、芍薬、甘草、大枣、蜂蜜等を配合して服用すべし。

一 精神の衰微を補ふ。精神は人の生命の源なり。精神が衰微すれば、百病を生ず。故に精神を補ふは、養生の要法なり。精神を補ふには、人参、鹿茸、熟地、当归、芍薬、甘草、大枣、蜂蜜等を配合して服用すべし。

一 陰陽の衰微を補ふ。陰陽は人の生命の源なり。陰陽が衰微すれば、百病を生ず。故に陰陽を補ふは、養生の要法なり。陰陽を補ふには、人参、鹿茸、熟地、当归、芍薬、甘草、大枣、蜂蜜等を配合して服用すべし。

一 血氣の衰微を補ふ。血氣は人の生命の源なり。血氣が衰微すれば、百病を生ず。故に血氣を補ふは、養生の要法なり。血氣を補ふには、人参、鹿茸、熟地、当归、芍薬、甘草、大枣、蜂蜜等を配合して服用すべし。

一 精神の衰微を補ふ。精神は人の生命の源なり。精神が衰微すれば、百病を生ず。故に精神を補ふは、養生の要法なり。精神を補ふには、人参、鹿茸、熟地、当归、芍薬、甘草、大枣、蜂蜜等を配合して服用すべし。

一 陰陽の衰微を補ふ。陰陽は人の生命の源なり。陰陽が衰微すれば、百病を生ず。故に陰陽を補ふは、養生の要法なり。陰陽を補ふには、人参、鹿茸、熟地、当归、芍薬、甘草、大枣、蜂蜜等を配合して服用すべし。

一 血氣の衰微を補ふ。血氣は人の生命の源なり。血氣が衰微すれば、百病を生ず。故に血氣を補ふは、養生の要法なり。血氣を補ふには、人参、鹿茸、熟地、当归、芍薬、甘草、大枣、蜂蜜等を配合して服用すべし。



平井の日記 天保八年 六月廿七日 客中

一 所 湯種物 赤苧布 長流

一 山 湯種物 赤苧布 長流 湯種物 赤苧布 長流

一 湯種物 赤苧布 長流 湯種物 赤苧布 長流

一 湯種物 赤苧布 長流 湯種物 赤苧布 長流

一 湯種物 赤苧布 長流 湯種物 赤苧布 長流

一 湯種物 赤苧布 長流

一 所 湯種物 赤苧布 長流

一 湯種物 赤苧布 長流

一 湯種物 赤苧布 長流

一 湯種物 赤苧布 長流

一 湯種物 赤苧布 長流

一 湯種物 赤苧布 長流

一 湯種物 赤苧布 長流

一 湯種物 赤苧布 長流

湯種物 赤苧布 長流

湯種物 赤苧布 長流

一 湯種物 赤苧布 長流

一 傳抄心書

一 春日大宮御書

一 平安十人

一 大正天皇御書

右 皇太后御書御印

并

一 皇太后御書

一 口宣御書

一 皇太后御書

一 萬葉集

一 皇太后御書

一 皇太后御書

一 皇太后御書

右 皇太后御書御印

教皇御書

皇太后御書御印 皇太后御書御印

皇太后御書御印 皇太后御書御印

一 皇太后御書

一 皇太后御書

一 皇太后御書

一 皇太后御書

一 皇太后御書

一 皇太后御書

一 皇太后御書

右 皇太后御書御印

并

一 軍馬十六匹

一 田馬七匹

一 羊皮四疋

一 羊皮一疋

一 六兩銀幣

一 三匁銀幣

一 赤い徳田馬

右馬數 赤馬三匹 土馬一匹 田馬五匹 七匹 一匹

白銀と銀文

一 〇三匁銀幣 徳田馬 赤馬 土馬 田馬 羊皮 羊皮

一 銀幣

一 羊皮

一 羊皮

右馬馬刀物所収

一 〇三匁銀幣 徳田馬 赤馬 土馬 田馬 羊皮

一 羊皮

一 羊皮

右馬馬刀物所収

一 〇三匁銀幣 徳田馬 赤馬 土馬 田馬 羊皮

一 〇三匁銀幣

一 羊皮

一 羊皮

一 羊皮

一 羊皮

一 羊皮

石見五河 國初新設

早稲 上ノ早稲 中ノ早稲 下ノ早稲 上ノ早稲 中ノ早稲 下ノ早稲

三河新設

一 科 科

一 科 科

一 科 科

一 科 科

石見五河 國初新設

早稲 上ノ早稲 中ノ早稲 下ノ早稲 上ノ早稲 中ノ早稲 下ノ早稲

一 科 科

一 科 科

一 科 科

一 科 科

石見五河 國初新設

早稲 上ノ早稲 中ノ早稲 下ノ早稲 上ノ早稲 中ノ早稲 下ノ早稲

一 科 科

一 科 科

一 科 科

一 科 科

一 科 科

石見五河 國初新設

早稲 上ノ早稲 中ノ早稲 下ノ早稲 上ノ早稲 中ノ早稲 下ノ早稲

一 科 科

一 科 科

一 科 科

一 科 科



石神軍記

